

防犯カメラの映像を分析

ファインド

迷惑行為への対応を支援

本物件では、**元警察官** による
防犯カメラアクションサポート

MIERU を導入しています。

「本物件の安全と安心を守るため、
事件性が認められる場合は関係機関と速やかに連携します。」
「防犯・安全対策の一環として、専門対応体制を整えています。」

000-000-0000

FIND×DO
株式会社ファインド



ファインド
(埼玉県蓮田市)
林田海志社長

林田海志社長は10年間、警視庁で地域部・警備部の警察官として勤務した経験がある。東京都内の繁華街で職務質問部隊として活動してきた。在職中、防犯カメラに最も多く映るのは「事件未満の映像」だと感じていたが、何も対応ができずトラブルになるケースを多数経験してきたという。

林田社長は、こうした解決されない社会問題に對して「頻繁に起きるが解決されずに放置されてしまう状況を自身の手で解決したい」と感じ、警視庁を退職後、1月に起業。警察官時代に培った知見を生かして、第三者の視点で防犯カメラに映った迷惑行為を分析し、対応へのアドバイスや注意喚起を行う同サービスを開始した。

置き配盗難保険の提供開始

補償拡充し営業強化

レスキュー損害保険

ジャパンベストレスキューシステム(愛知県名古屋市中)のグループ会社で、賃貸住宅の入居者向けの包括保険を提供する「レスキュー損害保険(東京都港区)は7月、置き配盗難保険の販売を開始した。既存の保険に置き配時の盗難補償を加えることで、取り扱い事業者の拡大を目指す。

一般的に保険商品では、賃貸物件内で発生する事故に対して補償される。置き配盗難保険では、宅配ボックスや置き配バッグなど、物件の敷地内で入居者が指定した場所が対象となる。また入居者が入居する物件および入居物件と同一の敷地内にある、施設により第三者が侵入できない物置や車庫にある動産も対象だ。保証される金額は、10万〜50万円。

同社は提供している保険は包括保険と呼ばれ、不動産会社が契約者、入居者が被保険者になる。不動産会社が保険契約者となることで、入居者の無保険状態の防止に加え、一般的な賃貸住宅向けの保険よりも手続きが簡素化されることで、不動産会社の取り扱い件数を伸ばしてきた。

賃貸入居者向けの家財保険の補償として、軒先などの限定なく置き配まで補償する商品は前例がないという。営業部の高田有平担当部長は「2年以内に、加入者を3万人増やしたい」と意気込みを語った。

Luup、新車両を発表

年齢・性別問わない利用を想定



発表会の様子

マイクロシモビリティのシェアリングサービス「LUUP(ループ)」を展開するLuup(東京都品川区)は8月5日、三輪・小型のユニバーサルカー「Unimmo(ユニモ)のコンセプトモデルを発表した。LUUPのこれまでのメインユーザー層は20〜50代で、特に20代〜30代が多く、若者が利用するイメージが強かった。同社はマイクロシモビリティを誰もが使える交通インフラにするため、構想に6年をかけた。Unimmoは特定小型原動機付きの三輪車両で、利用者は着座して走行する。速度は、時速6kmと時速20kmを切り替えながら利用することができ、年齢や性別を問わず使用可能にするため、ユニバーサルデザインを採用。走行の快適性を意識した。

Unimmoはアプリ上の走行状況データと車両の自動制御機能が連動し、カーブを曲がる際も人に代わりバランスを取る。そのため、利用者の転倒を防ぎ安定的に走行することができ、運動神経や体幹が衰えている高齢者でも乗車が可能になるという。

日本の都市構造は、一定の距離に駅やバス停などがない「交通空白地帯」が存在し、公共交通インフラの脆弱(ぜいじゃく)性が指摘されている。Luupは「街じゅうを『駅前化』するインフラをつくる」をミッション

「テック×不動産 未来を描くクロストーク」

第4回

永嶋 今後、私たちのようなシステムベンダーに、皆さんがどこに課題を感じられているのかを把握し、課題解決に向けて取り組むことは何より重要なことだと考えています。

永嶋 今後、私たちのようなシステムベンダーに、皆さんがどこに課題を感じられているのかを把握し、課題解決に向けて取り組むことは何より重要なことだと考えています。

顧客関係深め、企業価値向上へ

永嶋 今後、私たちのようなシステムベンダーに、皆さんがどこに課題を感じられているのかを把握し、課題解決に向けて取り組むことは何より重要なことだと考えています。

永嶋 今後、私たちのようなシステムベンダーに、皆さんがどこに課題を感じられているのかを把握し、課題解決に向けて取り組むことは何より重要なことだと考えています。

永嶋 今後、私たちのようなシステムベンダーに、皆さんがどこに課題を感じられているのかを把握し、課題解決に向けて取り組むことは何より重要なことだと考えています。

永嶋 今後、私たちのようなシステムベンダーに、皆さんがどこに課題を感じられているのかを把握し、課題解決に向けて取り組むことは何より重要なことだと考えています。

永嶋 今後、私たちのようなシステムベンダーに、皆さんがどこに課題を感じられているのかを把握し、課題解決に向けて取り組むことは何より重要なことだと考えています。

永嶋 今後、私たちのようなシステムベンダーに、皆さんがどこに課題を感じられているのかを把握し、課題解決に向けて取り組むことは何より重要なことだと考えています。

永嶋 今後、私たちのようなシステムベンダーに、皆さんがどこに課題を感じられているのかを把握し、課題解決に向けて取り組むことは何より重要なことだと考えています。



三井ホームエナート菊澤社長(右)とイタンジ永嶋社長(左)

永嶋 今後、私たちのようなシステムベンダーに、皆さんがどこに課題を感じられているのかを把握し、課題解決に向けて取り組むことは何より重要なことだと考えています。

永嶋 今後、私たちのようなシステムベンダーに、皆さんがどこに課題を感じられているのかを把握し、課題解決に向けて取り組むことは何より重要なことだと考えています。

永嶋 今後、私たちのようなシステムベンダーに、皆さんがどこに課題を感じられているのかを把握し、課題解決に向けて取り組むことは何より重要なことだと考えています。

永嶋 今後、私たちのようなシステムベンダーに、皆さんがどこに課題を感じられているのかを把握し、課題解決に向けて取り組むことは何より重要なことだと考えています。

永嶋 今後、私たちのようなシステムベンダーに、皆さんがどこに課題を感じられているのかを把握し、課題解決に向けて取り組むことは何より重要なことだと考えています。

イタンジ 永嶋 章弘
代表取締役社長執行役員CEO
筑波大学大学院システム情報工学研究科にて情報工学修士号を取得後、ニフティに入社。2014年、イタンジに入社し複数新規事業を立ち上げ、16年、メルカリにPdMとして転職。18年、イタンジに執行役員として再入社。23年11月、CEOに就任。

